

令和 8 年度秋季東濃地区高校野球大会 実施要項

- 1 主 催 岐阜県高野連・岐阜県高野連東濃支部
- 2 期 日 令和 8 年 8 月 1 0 日(月)～2 0 日(木)
- 3 会 場 中津川公園野球場・土岐総合公園野球場
- 4 参 加 数 8 チーム
- 5 ベンチ人員 部長・副部長・監督・記録員各 1 名・選手 20 名以内
- 6 提 出 物 選手登録用紙(野球ねっと)、球数確認表
※試合球(SSK 試合球 1 打・ロージン 2 個)は地区で準備する
- 7 規 則 高校野球要覧申し合わせ事項によるものとする。
- 8 試合開始時間

試合数	第 1 試合	第 2 試合	第 3 試合
3 試合	—8:30	11:10	13:50
2 試合	8:45	11:25	
1 試合	8:45	※変更する場合もある	

- 9 日 程(別紙参照)
- 10 申し合わせ事項
 - (1) 第 1 試合の両校は試合開始の準備をする。第 2 試合の部長は試合開始 1 時間前までに集合すること。
 - (2) 原則として晴雨にかかわらず、試合開始 1 時間 30 分前には会場に到着のこと。(試合開始時間に現れない場合は、規定通り処置する)
 - (3) 勝利校は次の試合の準備(グラウンド整備)をする。最終試合の場合は両校で片づけをする。
 - (4) 試合と試合の間はベンチの入れ替え後、約 40 分とする。
 - (5) 全ての試合にコールドゲーム、タイブレーク、継続試合を適用する。(決勝戦も)
 - (6) 本部に選手登録用紙、球数確認表を提出し、選手は背番号をつける。
 - (7) 両チームの監督、主将は試合終了後、審判控え室で指導を受けることができる。
 - (8) 3 試合の日の、ボール回しは試合時間が 5 回で 1 時間半、7 回で 2 時間を超えた場合は行わない。
3 試合が日没になった場合は、継続試合とする。照明が点灯できる場合は点灯して行う。
 - (9) 8 月 15 日は終戦記念日のため、正午に黙祷を行う。
 - (10) 7 回終了後に次の試合の投手がブルペンで投球練習を行う場合は本部に申し出て、相手校の許可を得る。なお、試合の妨げにならないよう、暴投等に注意すること。
 - (11) 大会運営責任者は多治見工業高校梨ヶ瀬(不在の場合は地区理事を代理とする)とし、試合中止または待機の決定は球場にて、試合該当の両校の部長、監督、および当番校顧問が球場管理責任者と協議の上、原則として、試合開始 1 時間前までに決定する。待機は 1 時間を目安にし、グラウンド状態が回復しない場合はその試合は中止とする。
 - (12) 警報等が出ているときは、大会本部より中止の決定を試合開始 2 時間前に連絡する。試合開始 2 時間前に警報解除の時は、この限りではない。(警報は学校所在地に出ている場合か、球場所在地に出ている場合)
 - (13) 試合中止の時は、原則として翌日へ日程順に移動する。
 - (14) 各校の顧問は塁審を行うこともある。(基本的には自校の試合の日に塁審を行う)
 - (15) ベンチ入り人数が 11 名に満たない場合は、11 名に達するまで、3 年生を補助員としてベンチに入れることができる。(ただし、走塁コーチなど試合結果に直接影響するような働きはできない。
バット引きや、キャッチボールの補助は認める。)
 - (16) 「1 週間で 500 球」の投球制限について
 - ・ 試合終了後、勝利チームのスコアをもとに、各投手の投球数を確定させる。それを球場責任者及び当該校以外の第三者が確認する(本部確認欄に押印又はサイン)。
 - ・ (各チーム 2 試合目以降の試合前の) 先攻・後攻決定時に、投球数確認表をメンバー用紙と一緒に提出し、「1 週間で 500 球」を超過する場合や当該試合で超過する可能性があるかどうかを

（球場責任者・球審・相手校の責任教師が）確認する。

- ・投球可能数が150球を下回る場合は、球場責任者及び当番校の部顧問、控え審判員でその投手の投球数をカウントし、（残り少なくなってきたら）投球可能数を球審と当該校の監督に伝える。当該校の監督は、その投手の投球数が超過する前（打席が完了していない場合は完了後）に降板させなければならない。

（17）健康面を考慮して、3日間連続の試合は実施しない。

（18）熱中症指数によって、3、5、7回に給水タイムをとる。

（19）試合開始時間を最大30分まで早めることを可とする。

◎試合方法・順位決定

- 1 トーナメント制により1位、2位のチームが県大会シード資格を得る。
- 2 自地区から甲子園へ出場するチームが発生した場合、該当チームと地区1位校が対戦するチャレンジマッチを実施することができる。

ーチャレンジマッチを実施する場合ー（シード決め）

- | | | | | |
|----------------|---|-----------|----------|-----------|
| ① 甲子園出場チームが勝利 | ➡ | ◎甲子園出場チーム | ○地区優勝チーム | △地区2位チーム |
| ② 甲子園出場が敗戦した場合 | ➡ | ◎地区優勝チーム | ○地区2位チーム | △甲子園出場チーム |

ーチャレンジマッチを実施しない場合ー

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| ① ◎地区優勝チーム | ○地区2位チーム | △甲子園出場チーム |
|------------|----------|-----------|

- 3 全ての試合にコールドゲーム（5回で10点、7回で7点差）を適用する。
- 4 9回終了後同点の場合は、延長10回よりタイブレーク（ノーアウト1・2塁で継続打順）を実施する。
- 5 継続試合を適用する。